

闘虎

No. 55 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成30年 夏季号



闘い続ける求道者の行く果ては！

明治杯全日本選抜レスリング選手権大会

6月14～17日、駒沢オリンピック記念公園体育館において、「明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」が行われた。昨年度は、グレコローマンスタイルで世界に挑んだ松本篤史(千代田jr-館高一日体大-ALSOK-警視庁)は、「原点回帰」「通い慣れた道」であるフリースタイルに戻り、階級は92kg級に上げて、14日に登場。初戦から完勝続きで決勝まで進み、決勝では新鋭・石黒峻士選手(日大)に7-1で勝利。続く7月7日、和光市総合体育館において行われたプレーオフでも8-2で振り返り、世界選手権(10/20～28、ハンガリー・ブダペスト)の日本代表の座を獲得した。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第55回

邑楽ジュニアレスリングクラブ



厳しい練習楽しいレク！
感謝の気持ちを忘れず！

6年 主将 小山 和哉

邑楽ジュニアレスリングクラブは、幼年から中学生までの22人で活動しています。練習は、基本のことと、それぞれに合った練習ができるように、小学生と中学生に分かれています。練習はとてつらいのですが、みんなやさしいので、励ましてくれたり、アドバイスをしてくれたりします。そのおかげで入賞したり、優勝したりします。また、年に一回、クリスマス会やハロウィン会など、レクをすることがあり、楽しいことがたくさんあるクラブです。

最後に邑楽ジュニアの目標は、大会でたくさん勝って、全国で優勝すること、オリンピック出場者をたくさん輩出することです。私たちを教え、支えてきてくださった保護者の方々や指導者の方々への感謝を忘れずに、まっすぐなレスリングの道を歩んでいきます。もうすぐ全国大会があります。いつも教えてくれる先生、強化練習会をしてくれる群馬の先生にメダルをたくさん持ち帰ります。

SCHEDULE

- 館林市民秋季大会
9月1日(土)
館林市城沼総合体育館
- 全日本女子オープンレスリング選手権大会
10月13日(土)・14日(日)
三島市民体育館
- 国民体育大会
9月30日(日)～10月3日(水)
あおい町総合運動公園体育館
- 県民総体・高校新人戦・群馬県小学生総体
11月4日(日)
館林市城沼総合体育館
- 上武洋次郎杯少年少女レスリング大会
11月18日(日)
邑楽町民体育館



森田 武雄さん(館林市・75歳)

レスラーの思い出

□この写真は昭和39年5月、私が明治大学4年の時、生田にあった明大の寮で一枚です。左が私、隣にいるのが今年7月に亡くなった、後のプロレスラー・マサ斎藤です。二人が手にしているのは、学生王座決定戦の優勝旗と優勝カップです。私が主将で、斎藤君が副将、明大の黄金期でした。この2年後、私は母校・館林高校教員として、群馬県から迎えられることになりました。間近に控えた館林市開催のインターハイ、いわゆる「44総体」に備えるためです。当時、県や館林市のインターハイに対する熱意はすさまじいものがありました。館高の優勝は至上命令、それに応えるべく、合宿に合宿を重ね、館高は団体優勝を果たしました。あれから51年後の2020年、館林市開催3度目のインターハイが刻々と迫っています。正に今、私もそのインターハイに向けて、尽力しているところです。

HEROINE'S IN GUNMA



石井 亜海 選手 (安部学院高校)

インターハイは、2回戦が勝負でした。第1シードの至学館高校の選手に勝てれば、優勝できると思い、何とか勝つことができ、ホッとしました。インターハイの金メダルは、まず日野会長(太田市レスリング協会・写真左)に見せて自慢したいと思いました。OSAは、私が素に戻れるホームです。また、大会で優勝して、OSAの指導者やチビちゃんたちに見せてあげたいと思います。

【選手権の部フリー】◇57[□]級 ①寺田有輝(国士舘大) ◇70[□]級 ①木村優太(専修大)

【選手権の部グレコローマン】◇130[□]級 ②吉澤瑠依(専修大)

【新人戦フリー】◇74[□]級 ③金子泰士(明治大)

【新人戦グレコローマン】◇74[□]級 ③金子泰士(明治大)

【女子】◇53[□]級 ③宮原初花(育英大) ◇55[□]級 ②杉山詢海(東京農大) ◇65[□]級 ③鈴木芽衣(東洋大)

6月9〜10日、水戸市民体育館において「第44回全国中学生レスリング選手権大会」が行われた。一昨年第3位、昨年第2位の城所拓馬が、今年こそ優勝を目指して臨んだ。準決勝で京都の選手を2-0で際どく退けたが、決勝で埼玉県の選手に惜敗。3年連続メダルの実績が評価され、全中合宿(8月20〜23日・水戸)後に実施された韓国遠征(8月23〜28日)の日本代表に選ばれ、堂堂敵地で2連勝し、凱旋した。

【男子】◇73[□]級 ②城所拓馬(OSA)

【女子】◇62[□]級 ②藤倉優花(邑楽)



県初! 中学生で国体出場も決めた城所拓馬

8月4〜7日、津市メッセウイングみえにおいて「第65回全国高校総体レスリング競技会」が行われた。女子レスリング強豪高・安部学院に進学したOSA出身・石井亜海は2回戦、実質決勝となった至学館高校の選手を破ったあとは、決勝戦までの試合をすべて完勝。一年生ながらインターハイ王者に輝いた。

【男子】◇73[□]級 ②城所拓馬(OSA)

【女子】◇62[□]級 ②藤倉優花(邑楽)

石井亜海 インハイV! 1年生で堂々の2冠! 東海インターハイ

児「玉岡颯斗が一人気を吐き、ベスト4進出。銅メダルを獲得した」◇92[□]級 ③玉岡颯斗(館林)



JOC・インハイの2冠! (写真はJOC)

◇62[□]級 ①石井亜海(安部学院) ◇74[□]級 ③小林奏音(市太田)

太田の麒麟児が活躍! 群馬唯一の銅メダル! 全国高校グレコ選手権

8月18〜19日、大阪・金岡公園体育館において「第34回全国高校生グレコローマン選手権大会」が行われた。小幡洋次郎氏命名「太田の麒麟

勅使川原(日体大) インカレ第2位!

全日本学生選手権

8月28〜31日、駒沢公園体育館において「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。昨年、決勝で1-2で惜敗している勅使川原延明(前西-日体大)は、今年の決勝も、青山学院大の選手と対峙。試合も昨年と同じような展開となったが、決め手に欠き、2-2の同点だが、ラストポイントで惜敗。勅使川原のインカレ優勝は、ならなかった。

【グレコローマン】◇82[□]級 ②勅使川原延明(日体大)

【女子】◇59[□]級 ③八木橋万葉(環太平洋大) ◇65[□]級 ③鈴木芽衣(東洋大)



決勝戦は2年連続同カード! リフトを狙う勅使川原

グレコで2選手準V! 女子では坂本第2位! 関東高校レスリング大会

6月2〜3日、佐倉市民体育館において「第64回関東高校レスリング大会」が行われた。男子で、谷津龍斗と玉岡颯斗が決勝まで進んだ。

【グレコローマン】◇65[□]級 ②谷津龍斗(館林) ◇92[□]級 ②玉岡颯斗(館林)

【女子】◇47[□]級 ③宮原乙葉(市太田) ◇62[□]級 ①石井亜海(安部学院) ◇68[□]級 ②坂本捺菜(富実) ③小田梨英瑠(館林商工)

◇74[□]級 ③小林奏音(市太田)

松井礼士が3度目V! 県勢4選手が第3位! 全国少年少女大会

7月27〜29日、大阪・府民共済スパイアリーナにおいて「第35回国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。松井礼士がこの大会、5年連続の決勝進出。決勝では見事フォール勝ちで、3年ぶり3度目の



「レイジ・ホイップ」からフォール勝ち!

寺田有と木村が優勝! 金子は両スタイル銅! 東日本学生選手権

6月27〜28日、駒沢公園体育館において「東日本学生レスリング選手権大会(春季大会)」が行われた。

優勝を果たした。

【小学6年】◇50[□]級 ③鳥居輪太郎(PALAI STRA) ◇60[□]級 ③西原文陽(明和)

【小学5年】◇50[□]級 ①松井礼士(OSA)

【小学3年】◇42[□]級 ③和田三志郎(館林)

【女子3年】◇24[□]級 ③本間あみ(邑楽)

なでしこGUNMAのレスクイーン



富岡実業高校 大竹 畔那さん(1年)

父や姉がレスリングをやっていたということもあり、オープンスクールの見学でも興味を持ったので、私も始めました。中学の部活とは違い、練習はハードでついでいくのがやっとなのですが、体力を付けて、練習が楽しんできるといえるようになったらと思います。尊敬しているレスラーは、登坂絵莉選手です。テレビで試合を観て、最後まであきらめずに試合をしている姿がカッコよかったです。これから、一日一日の練習にしっかりと取り組み、自信を身に付け、頭で考えていることや思っていることが実際に試合で使えるよう、また、先輩に追いつけるよう、頑張ります。